

NEWS目次

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 01 新春合宿 ■ 02 蔵のまち雛祭り ■ 03 「妻木頼黄展」で書き切れなかった事 | <p>今後の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 2018 カブトビールフェスティバル ② 半田運河キャナルナイト ③ ニッ坂カーニバル ④ 赤煉瓦ネットワーク横浜大会 |
|---|--|

NEWS 01
2018 新春合宿

2月17日(土)、古巣の成岩公民館よりアイプラザ半田へ会場を移し、新春合宿が開催されました。ご来賓の笠井半田市民経



済部長、松見半田市観光協会事務局長、指定管理者の服部半田赤レンガ建物館長よりご祝辞をいただきました。館長より、来場者数は直近1年間で50万人達成の見込みであること、また



倶楽部に対して特別展並びに各種のイベント時の協力に対してのお礼がありました。第1部では、4月～12月の事業報告があり、続いて30年度の事業計画案について、各委員長より説明がありました。参加者からの質問もあり、大変活発な意見交換の場となりました。第2部は、お楽しみの懇親会です。今回はデリバリースタイルにし、準備から片付け

が解放されました。そして、自由な意見交換と司会者の楽しいトークであったという間に時間が過ぎました。赤レンガ建物や倶楽部の夢を仲間と語り合え、大変素敵な時間と空間だったと思います。懇親会では例年以上に心遣いの差入れもいただきました。差入れ、本当にありがとうございました。新春合宿は事業年度の区切りとは別で、新年にあたり1年間の計を考え、語り合う会なのです。今年も大変熱い雰囲気で行いました。今後も会員の皆様のさらなる参加をお待ちしています。(左右木記)



NEWS 02
蔵のまち雛祭り



平成30年3月1日～4日の4日間、毎年開催される半田赤レンガ建物の桃の節

句では名物行事となりました「ガラスのひな祭り展」とカブトビールグッズの販売促進により半田赤レンガ建物のPRに大きく貢献しました。ガラス



のひな祭り展では昨年を上回るLED電飾の夢ホテルと陶器ランプの幻想的な雰囲気、煌びやかなステンドグラスのお雛様を美しく彩り、蔵のまち半田・桃の節句を大いに盛り上げました。来場者は家族連れが多く、遠方からも半田赤レンガ建物に訪れていただき、幅広い年齢層の方々に明治の文化漂う旧カブトビール工場の魅力を再発見していただきました。（平岡記）

■NEWS 03

「妻木頼黄展」で書き切れなかったこと

「半田赤レンガ建物を設計した妻木頼黄のすべてをたどる!」をテーマに4月21日から開催した2018特別展は5月20日で無事終了しました。会期中の来場者数は27,500名で昨年よりも4,000名も多くご来場いただきました。同時開催しました「村井眞哉写真展」の効果も大きかったと思っています。村井眞哉様をはじめ関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

また、特別企画として5月13日(日)に、15時から「特別展解説会」を開催しましたところ、会員並びに一般の方、日本福祉大学の学生さん方、約40名の方にご参加いただきました。皆さん大変熱心にお聞きいただき誠にありがとうございました。引き続き16時からカフェで開催した「座談会兼懇親会」は大変和やかな雰囲気、大いに盛り上がりました。解説会・座談会の開催は初の試みでしたが、今回の成果を踏まえ、今後も随時開催していきたいと思っています。特別展の詳細に関しては次号の会報誌に掲載させていただきます。

さて、本題に入ります。

特別展のパネル原稿構想段階では、出来る限り妻木頼黄について広くかつ詳しく触れたいと思っていましたが、パネルスペースの関係上、多くの事を書き残してしまいました。今後会報誌をはじめ色々な機会を捉えて出来る限り皆さんにお伝えしたいと思っています。そこで、今回は、書き残した中から、「隠れ江戸人」というテーマについてお話しします。

パネルでも触れましたが、妻木頼黄は安政6年江戸赤坂・一千石の旗本の家で生まれま



米国留学中の妻木頼黄(明治村提供)

した。しかし、幼い時に父を失います。そして、明治維新。彼が9歳の時でした。時代が変わらなければ将来が約束されていた

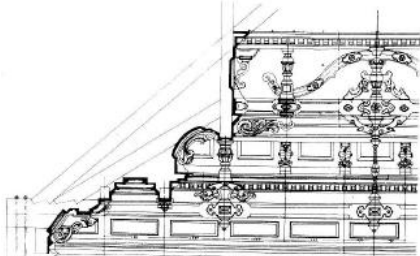
身分でした。しかし、時代の変化で身分は剥奪、また輪をかけて母、姉を続けて亡くし、まさに幼少期は受難と破産に直面した時代でした。その後彼は生まれながらのチャレンジ精神と人に恵まれ、建築界のドンと言われるほど最高峰の地位に昇り詰めました。その間、彼はずっとこの時期の苦難を忘れることはなかったと思います。そして、彼の幼いころの



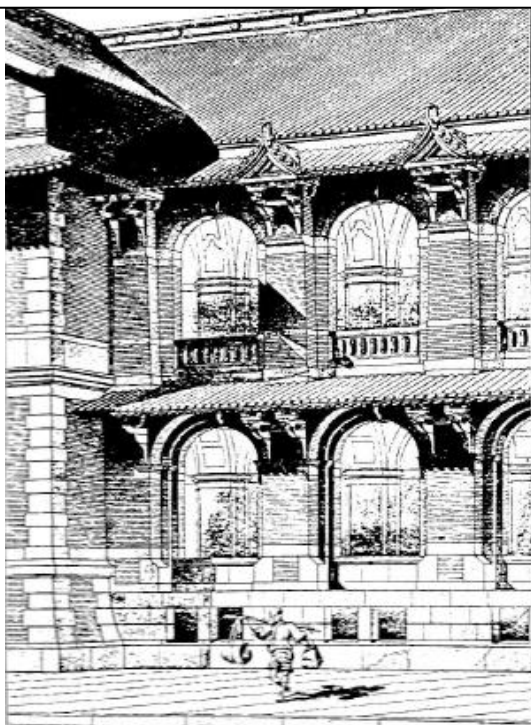
東京裁判所透視図(INGE & A' ッマン作品集より)

思い出が、その後の彼の作品の随所に出ています。明治になり新政府は不平等条約解消を大目標とし、ロンドン、パリにも劣らない近代都市の建設を目指しました。最初はお雇い外国人技師が、その後は工部大学校卒の辰野金吾を筆頭とする建築家たちが続々と西洋式

の建物を建てていきました。その中であって彼は、随所に和洋折衷のデザインを施しました。明治28年、ドイツ留学から帰国直後にドイツのお雇い建築師エンデ及びベックマンがスケッチした東京裁判所案を彼が引き継ぎ完成させましたが、その中にはすでに日本の手法が入れられています。



東京裁判所大広間和風意匠図・設計*妻木頼黄
(日本建築学会蔵)



東京裁判所・部分透視図(Deutsche Bauzeitung誌より)エンデ&ベックマン作成のパース図。ドイツ留学時代にこの図を見た妻木頼黄は脳裏に鮮明に焼き付け、その後の彼の設計に大きな影響を及ぼしたと言われている

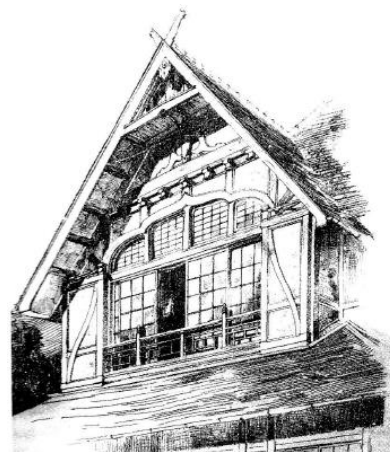
彼の和洋折衷の代表格は日本勧業銀行本店、日本橋の意匠であり、また自宅の別棟にも取り入れています。当時他の建築家からは和洋折衷意匠に非難の目で見られました。しかし、冷静に分析すると、それはまさに江戸旗本の長男の遺伝子が成せる業だったのです。彼にとって、東京は江戸であり、いわば失われた



妻木頼黄白邸・設計 妻木頼黄
(「建築雑誌」第24輯277号より)

故郷なのです。従って、彼が想う東京(江戸)は、新政府の中枢を占めた薩長の人たちが考えた「江戸を全否定し、西洋並

みの街並みを作る」というような対象ではなかったのです。彼にとって、東京(江戸)は、常に郷愁の対象で、心の奥底に染みついており、西洋式建築を手掛けている中でも、その現象が無意識の中に噴出してきたものと思われま。つまり、一生旗本であっ



妻木頼黄白邸・部分透視図
(「建築雑誌」第24輯277号より)

たことを忘れたことがなかったと思われま。それは一般から見ると時には奇異に映った時もありました。例えば、工部大学校をあと1年半という時期に突然中退しアメリカへ留学してしまいます。これもある意味、旗本であったこと、つまり「隠れ江戸人」としての行動だったと思われま。工部大学校を支配していたのは、新政府の薩長閥であり、本心ではいつかは勝つてやるとの思いがあったように思いま。そのことが全て彼のエネルギーとして発揮された。結果、不世出の大建築家の名を残すことになったと思いま。まさに「隠れ江戸人」の真骨頂発揮だったのです。(記:馬場)

今後の事業計画

■ 定 款 (抄)

【法人の名称】

一般社団法人赤煉瓦倶楽部半田

【目 的】

当法人は、貴重な旧カプトビール工場の半田赤レンガ建物及び旺盛な起業家精神を顕彰するとともに、後世に引き継ぎ、それを活かしたまちづくりに関する事業を行うとともに、赤煉瓦に関係するネットワークと連携し、赤煉瓦を活かしたまちづくりを支援する活動を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

【会 費】

- (1) 入会金 1,000 円
- (2) 年会費
 - ① 個人会員 2,000 円
 - ② 法人・団体会員 10,000 円
(団体は 10 名以上)
 - ③ ボランティア会員 無料

【活動年度】

毎年 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日

総会は、毎年 1 回開催する

【運 営】

当会の運営は理事会で行う。運営にあたり次の役員を置く。

- (1) 理事 5人以上
- (2) 監事 1人以上

理事のうち、一人を理事長、2人を副理事長とする。

【事業年度】

毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの年 1 期とする。

■ 編集後記

平成 29 年度 (H29.4～H30.3) も無事決算を終えることができました。決算結果については 6 月 16 日の定時総会にて報告させていただきます。直近 1 年間の来場者数は 50 万人の大台に乗りました。集客だけから見れば万々歳です。しかし、建物の運営全般は当初の狙い通り言っているのでしょうか。今後も倶楽部は、定款の目的事項「赤レンガ建物並びに旺盛な起業家精神を後世に引き継ぐ・・・」を達成するために愚直に活動を進めて行きたいと思っています。会員の皆様方のご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。(事務局 N.B)

【1】カフトビールフェスティバル

■日時:平成 30 年 7 月 14 日(土)～16 日(月)

■時間:10:00～20:00

■場所:半田赤レンガ建物

■内容:生カフトビールを中心に各種企画

【2】半田運河 CANAL NIGHT

■日時:平成 30 年 8 月 17 日(金)・18 日(土)

■時間:17:00～21:00

■場所:半田運河蔵のまち広場

■内容:生カフトビール出店&半田赤レンガ建物 PR

【3】ニッ坂カーニバル

■日時:平成 30 年 9 月 1 日(土)・2 日(日)

■時間:12:00～20:00

■場所:半田図書館前通り周辺

■内容:生カフトビール出店&半田赤レンガ建物 PR

【4】赤煉瓦ネットワーク横浜大会

■日時:平成 30 年 11 月 10 日(土)・12 日(日)

※詳細案内は、9 月初旬頃の予定

カプトビール関連のご案内事項

【1】徳川美術館

・特別展:「米騒動絵巻に見る 100 年前のモダン都市」・絵巻にカプトビールが登場
竹内進氏所蔵のカプトビールのお宝展示

・日 時:平成 30 年 6 月 1 日～7 月 16 日

【2】松坂屋美術館

・特別展:「ジブリは名古屋から始まった」・・・
宮崎駿監督の「風立ちぬ」に出てくる名古屋駅前のカプトビール看板の絵
出展。松坂屋の要請でカプトビールを販売する予定。

・日 時:平成 30 年 6 月 23 日～7 月 16 日